

移植用臍帯血基準（案）の方向性について

※第1回臍帯血基準検討会で確認されたもの

1. 基本的な検討の方向性について

現状でも我が国の臍帯血移植は良好な成績が得られているが、臍帯血の品質をより高めていく方向で検討する。

- 1) 日本さい帯血バンクネットワークが制定している臍帯血移植の実施のための技術指針および各種基準書の内容を基本とする
- 2) 血液事業等関連する他の制度の基準との整合性を考慮する
- 3) 品質基準に関する国際的な動向を考慮する

なお、改善には時間を要する事項も含まれるため、基準（案）は段階的な改善を想定して議論を行う。

2. 具体的な検討事項について

移植用臍帯血基準（案）は、臍帯血の採取から提供・移植に至るまでを含むこととなるが、以下の点に留意して検討を行う。

- 1) 効果的な治療のための品質表示の統一
- 2) 安全性とトレーサビリティの確保のための情報管理
- 3) 個別の手技等について、各臍帯血バンクの標準作業手順書に規定

なお、臍帯血採取病院の技術および調製保存の技術は、支援機関等が行う研修会などで、向上を目指す。